



田中敦子「作品」昭和33年（1958年）

STAINLESS STEEL BAR & WIRE
NABEKURA



鍋倉金属工業株式会社 和田山工場
〒669-52 兵庫県朝来郡和田山町筒江字中山165番地7
TEL 0796 (74) 2011 (代) FAX 0796 (74) 0150
OSAKA・TOKYO

行商のおばさん

絵と文・村上勉



円山川から流れくる朝もやの中、八鹿駅に汽車が着く。

通学生が降りたあと、ゆっくりゆっくり魚の行商のおばさん達が、背にいったいの魚箱をかつき、次々と降りてくる。竹野や佐津の方からやってくるおばさん達だ。

駅前広場で背の荷をおろし、リヤカーに荷を移しながら、魚箱に水を入れ、竹ざさをかぶせ、店びらきだ。水筒のお茶を一口飲みほし、仲間に声をかけて、町内を一軒ずつまわりはじめる。

「今日はな、イカと焼サバ、カレイに竹輪。活きのええ刺身もありますでえ。見とくんははれな。」

日本海育ちの浜のおばさんの声は、家の奥までよう聞こえる。

「元気にしとんなはるかな。」

ひとり暮らしの老人に声をかけ、縁側で話し込む。

「帰りに、わしが医者に寄って、薬を取ってくるけん、あんたはゆっくり寝とんなはれ。」

大雪や洪水で汽車がストップしない限り、いつもいつも元気な顔をみせてくれた、このおばさん達が、私は大好きだった。